

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06201
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学 人間文化学部	開講場所 (キャンパス・施設)	広島キャンパス
2. 科目名	人間文化学への招待—国際文化学科で何を学ぶか—		
	学問分野	番 号	41 名 称 総合教養
3. 担当教員	小川 俊 輔 国際文化学科 准教授 栗原 武 士 国際文化学科 講師 植村 広 美 国際文化学科 准教授		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 27 年 7 月 25 日 (土) 9 時 40 分 ~12 時 30 分 ①9:40~10:30, ②10:40~11:30, ③11:40~12:30		
5. 募集定員	50 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>県立広島大学人間文化学部国際文化学科は、国際化時代にあってグローバルな視野から現代社会を考える「国際理解」・文化や思想を相対的に探究したり、複数の地域の特徴を相互に比較したりする「文化研究」・価値観を尊重し合い、お互いを通じ合わせる言語能力や表現を追究する「コミュニケーション」を柱として学修を進めています。英米と東アジア・日本を対象とする地域研究の専門の先生が多く、多様な科目でカリキュラムを構成しています。</p> <p>この講座では、高校生みなさんに国際文化学科の教育のありのままの姿を紹介する目的で、下記の3講義を選びました。国際文化学科が提供する「知の探求」を体験してください。</p> <p>① 小川 俊 輔 「日本語の歴史は外国語受容の歴史? —キリスト教用語の日本語化を例に—」 『国語辞典』に載っている言葉のうち、昔から日本で使われていた言葉 (=和語) の割合は 1/3 程度で、残りの 2/3 は外国から入ってきた言葉です。この講座では、「外国語」が「日本語」になってゆくメカニズムを、キリスト教用語を例に考えてみたいと思います。</p> <p>② 栗原 武 士 「境界線のナラティブ: 現代アメリカ文化を読み解く」 アメリカは様々な人種・文化が共存するダイナミックな国家です。本講義では現代アメリカ文学・映画を題材に、様々な文化的境界線と、それら乗り越えてゆく人々の営みを読み解いてゆきます。</p> <p>③ 植村 広 美 「中国における教育の実態」 中国では都市と農村において大きな経済格差がありますが、同じように教育にも顕著な格差がみられます。そうした中国の教育の実態についてお話ししていきたいと思います。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 あり・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ない</span>	① 最少開講人数 (        人) 定員超過の不許可は選考により決定 ----- ② 不許可・不開講通知日 6 月末		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと とくになし		
11. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。